



# 市長 からの 手紙

## 57 レインボー協議会

レインボー協議会をご存じですか？ 正式には「埼玉県川越都市圏まちづくり協議会」という名称の、緩やかな結びつきの広域行政組織です。

この協議会は、昔から歴史的・文化的なつながりが強く、生活圏域が密着している坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、川島町、毛呂山町、越生町と川越市の合計4市3町で構成されています。通勤・通学や商圈など日常生活でも深く結びついた生活圏を形成している地域であり、相互に連携し、交流しながら魅力ある地域づくりをするために、昭和62年に発足しました。今年で30年目を迎えます。

どんな事業をしているのかと言いますと、

### ●図書館、文化施設、体育施設等の相互利用

7市町の住民は、他市町にある図書館等を、設置している市町の住民と同等、または準じた条件で利用できます。

●**広報紙相互掲載** 各市町の広報紙に「レインボー情報」を掲載し、住民相互の交流機会の場を紹介します。

●**交流事業** 毎年1回、各市町が持ち回りで「レインボー祭り」や「講演会」等を開催しています。もちろん、どなたでも参加できます。

●**婚活事業** 近年始めた事業です。大変人気が高く、応募者が定員を大幅に超える状況です。

●**バスツアーの実施** レインボー協議会の構成市町の観光名所などを1日で回るツアーです。これも大変希望者が多い企画です。

現在、全国の市町村では、地方創生のための総合戦略を策定し、人口減少に歯止めをかけ、地域経済の活性化、にぎわいの創出に向けていろいろ努力しているところです。そのなかで、単独自治体のみで努力をするのではなく、広く複数の自治体が連携して経済活性化や、にぎわいの創出をしていくことが推奨されています。川越市をはじめ、レインボー協議会の構成市町でもそれぞれ総合戦略を策定し、その施策を実施中です。その一環として、広域連携であるレインボー協議会も市町の連携を強め、この地域のにぎわいをさらに高めるために努力していくつもりです。皆様もレインボー協議会の事業にぜひ、ご参加ください。

川越市長 川合善明

環境にやさしい行動を目指して 15

夏の節電対策

環境政策課 224・5866

電力需要がとて多い夏。特に気温が高くなる午後2時ごろは、消費電力が最も多くなり、その半分以上を占めるのはエアコンです。今回は、節電や夏を涼しく過ごすポイントを紹介します。

**エアコンのフィルターをきれいにしましょう**

フィルターがきれいな状態だと風力が下がらず効率的な運転ができます。また、室外機は直射日光が当たると冷房効率下がるので、すだれを立て掛けるなどしましょう。

**室内温度が28℃程度になるよう設定しましょう**

エアコンは設定温度を27℃から28℃に上げると消費電力が約10%削減できると言われています。冷たい空気が逃げないようにカーテンを閉め、扇風機を使って空気を循環させることで効率よく室内を冷やすことができます。

**服装などを工夫しましょう**

袖口のゆつたりした服装で過ごしたり、涼感素材の寝具などを活用したりすると、快適に過ごせます。また、涼しい場所をシェアするクールシェアスポットに出掛けるのもおすすめです。涼しく快適で、節電にも効果があります。



市では、家電製品の電力使用量を計測できる「簡易電力計」と家全体の電力使用量がリアルタイムで分かる「省エネナビ」の2種類の機器の貸し出しをしています。ぜひ夏の節電に活用ください。